

加美町地震防災マップ (揺れやすさマップ) 宮城県沖地震(単独型)

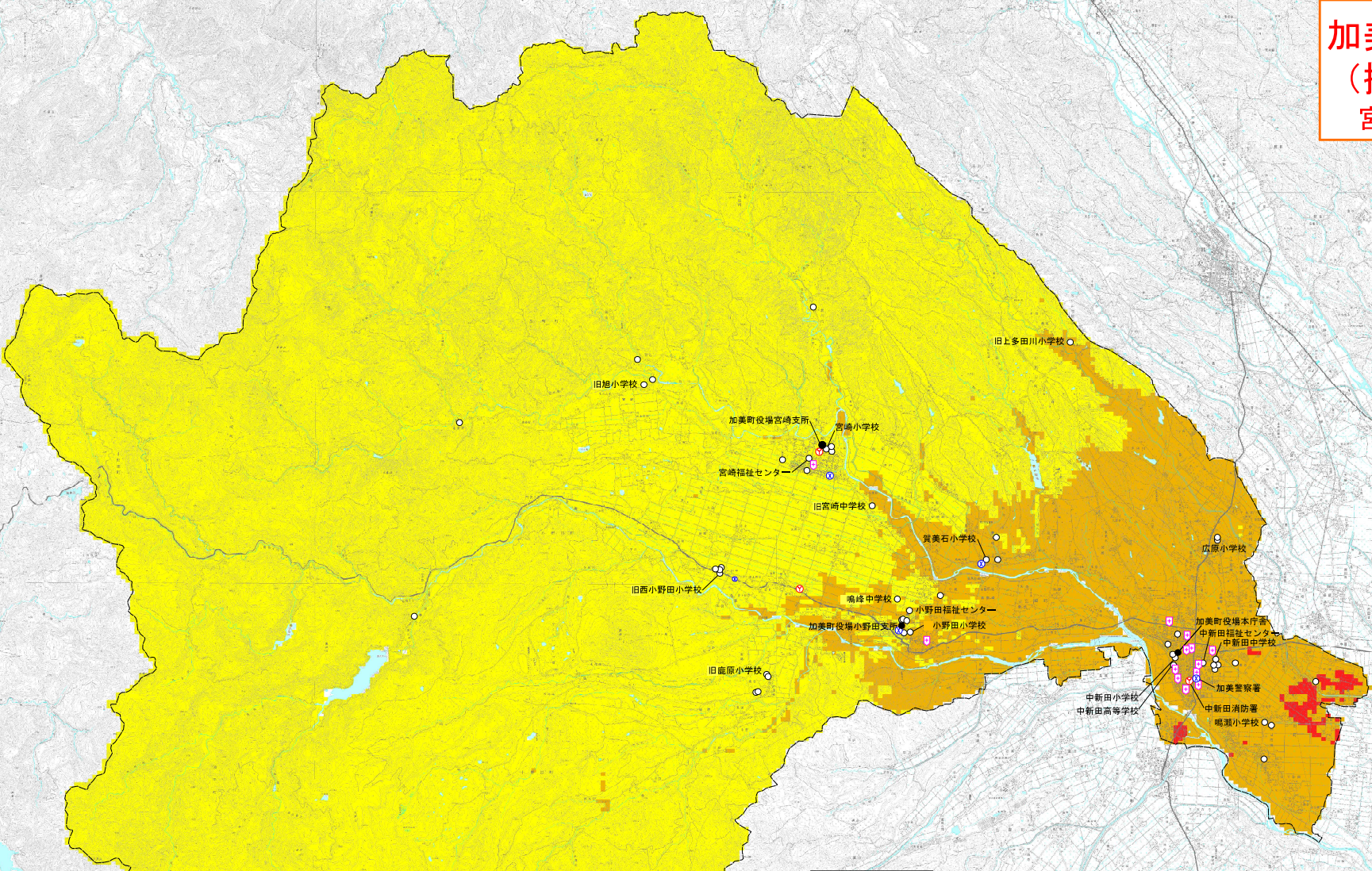
揺れやすさマップとは？

○この揺れやすさマップは、直建型の地震である宮城県沖地震(単独型)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ幅に表現しています。

○この地震は、平均すると37年に一度、1978年の宮城県沖地震と同程度の規模と同様に繰り返すと想定されていると考えられています。今後30年間の発生確率は9.9%といわれています。

○マグニチュード7.6を想定しています。

○なお、ここに示した震度は、建物の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。建物の発生の方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。



地震の大きさ＝震度とは何か？

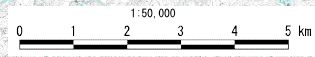
地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。

震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。従前は震度の0から7までの9階級でしたが、平成8年10月から震度6と震度7とをそれぞれ6弱・6強、5弱・5強に分けて10階級に改訂されました。

また、気象庁が発表する震度は、従来は気象庁の職員が体に感じたものの強さや周囲の建物の被害などから判断していましたが、最近では震度を観測するための「震度計」の設置とともになり、この震度計の計測値(「計測震度」と言います。)をもとに計算で震度を定めるようになっていきました。

		震度							
		震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4	震度3	震度2
階級		震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4	震度3	震度2
感じ方		揺れはほんのりささやわやわと振動している。自分の意思で歩行できない。行動に支障を感じる。	空っぽになっている。立ち止まることができない。	立っていることが困難になる。	非常な恐怖を感じる。	多くの人が、身の安全を確保しようとす。行動に支障を感じる。	かなりの恐怖を感じる。一部の人は、身の安全を確保しようとす。行動に支障を感じる。	室内にいる人は、揺れを感じる。一部の人は、身の安全を確保しようとす。行動に支障を感じる。	室内にいる人の多くが、揺れを感じる。一部の人は、身の安全を確保しようとす。行動に支障を感じる。
家具の被害		ほとんどの家具が倒壊する。家具の多くが破損する。家具の多くが倒壊する。	固定していない重たい家具の多くが倒壊する。家具の多くが破損する。	固定していない重たい家具の多くが倒壊する。家具の多くが破損する。	傾いた家具、倒壊した家具、破損した家具。家具の多くが倒壊する。	傾いた家具、倒壊した家具、破損した家具。家具の多くが倒壊する。	傾いた家具、倒壊した家具、破損した家具。家具の多くが倒壊する。	傾いた家具、倒壊した家具、破損した家具。家具の多くが倒壊する。	傾いた家具、倒壊した家具、破損した家具。家具の多くが倒壊する。
木造の被害		耐震性の高い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。	耐震性の低い住宅でも、傾いたり倒壊したりするものがある。

凡例	
○	避難所・避難場所
●	役場・支所
+	医療機関
Ⓜ	警察署
🚒	消防署
---	加美町界



この「地域の危険度マップ」の解説は、「住宅における地震被害軽減に関する指針」(2004年・内閣府)を参考として作成しています。
(http://www.bonssi.go.jp/eshirase/h16/040825/jutaku_shishin.pdf)

このマップに関する問い合わせは…
加美町役場 建設課 〒981-4292 宮城県加美郡加美町字西田三番5番地
TEL 0229-63-3116 FAX 0229-63-3398